

訪れる人の少ない静かな山  
鷹落場～矢倉岳

実施日 2013年3月30日(土)  
天候 曇り  
リーダー 一柳昭  
S L 伊藤久雄  
参加者 佐藤金治、一柳昭、涌井良明、鈴木政三、鈴木恵美子、小村井好江、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宮下良之、徳山敬子、熊本紗江子 計12名  
費用 新宿駅⇄新松田駅1,500円  
新松田駅-足柄万葉公園(タクシー)1,450円 山北駅⇄松田駅180円  
交通費計 3,130円  
タイム 新松田駅(8:45~8:50タクシー)足柄万葉公園(9:15~9:27)山伏峠(10:12~10:18)鷹落場(11:00~11:32)昼食山伏峠(12:03~12:10)矢倉岳(12:27~12:40)山伏峠(13:00)二十一世紀の森(13:45~14:00)洒水の滝(15:15~15:45)山北駅(16:28~16:48)新松田駅(16:55)

当初の計画では鳥手山林道終点の登山道から登る予定だったが、下見に行ったら実際に確認したらヒノキの伐採で作業道が何本も横切っており、沢山の踏み跡や打ちした枝で登山道が消滅しており、斜面をよじ登り尾根に出たが尾根も藪がひどくなくなり、こぶし会の山行で十数人で歩くのは困難と判断してコースを変更することにした。当日は新松田駅からタクシーで足柄万葉公園に行きここからスタートした。あいにくの曇り空で月末にしては寒い気候だった。山伏峠までは山腹を巻くように歩き比較的楽に山伏峠に着く。真世の森・洒水の滝方面、右上は矢倉岳方面と道標が出ているが、道標が出ていない左に下る道が鷹落場方面である。



ここから鷹落場までは雑木林の尾根道が続く、多少のアップダウンはあるものの、息が切れるほどの傾斜の所はない。ハイキングコースとしては整備されていないので道標はないが踏み跡と所々にあ

るテープや赤ペンキを頼りに進み高みに出たところがT字路になっており右に進んでいくと鷹落場の山頂に着く。鷹落場は箱根連山と丹沢山塊に挟まれた所だがあいにくの曇りで展望はまったくくない。



昼食後、元の道に戻り山伏峠から矢倉岳へ。いつもであれば展望の良い所だが鷹落場と同じく展望はまったくくない。

再び山伏峠に戻りスギ・ヒノキの人工林を45分ほど行くと「二十一世紀の森」に着き休息所で大休息を取る。



この先で「洒水の滝」を指す道標に従って左に入ると再び山道になる。周囲は「野鳥の森」で所々で倒木や土砂崩れがあるが難

なく通過し、まもなく滝脇林道にぶつかり右に曲がる。この林道は長く内山分岐で左折し竹林を過ぎると道は簡易舗装に変わり洒水の滝を遠望しながらどんどん高度を下げていく。やがて滝沢川沿いの道にぶつかり左折して坂を登ると待望の洒水の滝に着く。洒水の滝は「日本一の滝百選」に選ばれている三段の滝で、一の滝が6



9m、二の滝が16m、三の滝が30mである。数年前の落石で赤い橋の手前までしか行けないがここから見ても断崖を一気に落下する純白の滝は掛け値なしの名瀑である。



ここから山北駅までは舗装路でうんざりしたがJR御殿場線の上に架かる橋に来ると線路沿い桜並木が満開で見事である。山北駅までのいくつかの橋の上は桜見物や写真撮影の人達で一杯だった。

今日は曇りで山の展望は皆無でしたが最後で満開の桜を見ることができ参加者にも満足していただけた。

(記・一柳 昭)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)